

带状疱疹ワクチン

予防接種への助成を

国や県の動向を注視し検討する



今井みきこ 市党 藤沢公明

質問 带状疱疹ワクチンについて、県が国に定期接種の要望をするため、県内市町村にアンケート調査を行ったと聞いているが、本市の回答について聞きたい。

答 各市町村の状況については、現状、带状疱疹予防接種に対する助成は行っており、任意接種である带状疱疹予防接種は、国の助成の予定はないと回答している。

質問 また、県が国へ要望することの可否については、地交付税不交付団体に対し、財政支援が必要であるとの意見を付して可としている。県が市町村に対する助成をすることの可否について、市単独での助成は難しいと理解しているが、県が県内自治体に対して助成を始めた場合、本市も助成を始めるべきと考えるが、市の見解を聞きたい。

答 带状疱疹予防接種は、現在、国が定期接種化について審議を継続しており、引き続き国の動向を注視していくが、県が助成を始める際には、県から示される内容も含め、検討していきたいと考えている。

質問 小・中学校体育館空調設備の早期設置を

答 本市の小・中学校の体育館は避難所に指定されているが、エアコンが設置されていない。また、近年、体育館への空調設備の設置事例も報告されており、早期設置を求める意見・要望が高まっている。

答 既存体育館への空調設備の設置に当たっては、事業費の削減や効率的な運用、工事またはリース事業等の整備手法の検討、全校設置に向けたスケジュールの想定など、次期再整備実施計画の検討内容の一つとして、体育館への空調設備の設置に向け、具体的な検討を進めていく。

質問 着地型観光の促進 持続可能な観光振興を

答 浮世絵体験や観光農園、漁業体験など、地域性を生かした着地型観光を促進することで、各地域が持つポテンシャルを生かした観光振興を推進できると考えている。

答 浮世絵体験や観光農園、漁業体験など、地域性を生かした着地型観光を促進することで、各地域が持つポテンシャルを生かした観光振興を推進できると考えている。

質問 避難所における性暴力防止のための取組を

答 避難所で女性の視点を取り入れ、ジェンダー視点を立った運営の重要性への理解を深める研修・学習等の機会が必要と考えるが、市の見解を聞きたい。

答 令和4年度は、女性視点の避難所運営を考えるキックオフミーティングや、

接種機会の確保 HPVワクチン 男性への接種費用助成を



町田輝佳 市民クラブ 藤沢

質問 HPVワクチンの接種率を上げるため、予防接種も市外医療機関で接種し、費用を償還払う仕組み等の構築について聞きたい。

答 定期予防接種は住民登録住所地での接種となっており、市内指定医療機関

質問 近頃の医療機関利用により、心配事が生じた場合も速やかな受診・相談が可能となると捉えている。一方、通常の方法による定期接種が困難な方が、市外医療機関での接種を希望する場合もあるため、接種機会の確保に向け、検討していきたいと考えている。

答 男性に対するHPVワクチンの任意予防接種費用助成を行うべきと考えるが、市の考えを聞きたい。

質問 落書きへの対策 強い意志持ちは対応を

答 市職員だけで落書きを対応するのは限界があるため、外部の力を活用する方法が重要と考える。市として落書きは許さないという強い意志を持って対応すべきであり、そのような姿勢を強く示すことで、民間管理施設や県に対して、管理の徹底を促すことが重要と考えるが、市の見解を聞きたい。

質問 藤沢聖苑火葬炉 件数増加見込み増設を

答 本市では、藤沢市きれいで住みよい環境づくり条例で、落書きを禁止行為と位置づけ、違反者に対して必要な措置を講じる命令を可能とし、落書きが放置されている建築物等の所有者に消去を要請するなど、積極的に対応してきた。落書き対策や消去活動では、警察などの関係機関と協働した落書き消去イベントの開催や、地域団体、チームFUJISAWAボランティアとの連携など、マルチパートナーシップによる活動を進めてきた。

質問 おひとりさまでも安心 尊厳を守る新たな支援

答 認知機能の低下が比較的軽度だが、将来に不安を抱える頼れる身寄りのない単身高齢者の方には、やさしい手続き等、現行の成年後見制度や日常生活自立支援制度のみでは解決の難しい場面もある。本人の意思が尊重される新たな意思決定支援策の構築が必要と考えるが、見解を聞きたい。

質問 本市でも教員は欠員が生じており、人材不足は危機的状況である。県の予算に加え市独自の取組として追加で780時間分を市費で負担し、スクール・サポート・スタッフの配置を増加すべきと考えるが、教育委員会の見解を聞きたい。

答 県に対して配置時数

質問 着地型観光の促進 持続可能な観光振興を

答 浮世絵体験や観光農園、漁業体験など、地域性を生かした着地型観光を促進することで、各地域が持つポテンシャルを生かした観光振興を推進できると考えている。

質問 避難所における性暴力防止のための取組を

答 避難所で女性の視点を取り入れ、ジェンダー視点を立った運営の重要性への理解を深める研修・学習等の機会が必要と考えるが、市の見解を聞きたい。

質問 流産・死産等のケア 必要な情報の周知を

答 流産・死産等を経験した方への相談などのケアについては、必要な情報の周知はどのように行っているのか聞きたい。

質問 流産・死産等を経験した方へのパンフレットやチラシを作成しているのか聞きたい。また、様々な手法を活用して関係各所と連携した周知が必要と考えるが、市の見解を聞きたい。

答 現在はホームページを中心に周知を行っており、パンフレット等は作成してはいるが、今後は、グリーンカーアを行って自動車の意見を聞きながら、医療機関等と連携し、紙媒体等も含めた効果的な周知方法も検討していく。

質問 共生社会の実現に向けて

答 令和4年度は、女性視点の避難所運営を考えるキックオフミーティングや、

質問 教員の負担軽減 市独自の取組を

答 コロナ禍での利用者減少に伴い、鉄道ダイヤが改正され、減便されたが、沿線住民からの不便になったとの声を認識しているか聞きたい。

答 交通マスタープラン13地区の郷土づくり推進会議などの意見交換を行っているが、江ノ島電鉄のダイヤに関する意見等は、小田急電鉄の改正については、一部の地区において、乗換えが不便になったとの意見を聞いている。